

・2022年度機械クラブ活動計画と実績

2022年6月4日

- 【基本方針】
1. 同窓会活動の積極的推進
 2. 母校・KTCとの連携強化
 3. 組織の若返り・活性化活動の展開

部会	2022年度活動計画	2022年度活動実績												
総務・HP	<ul style="list-style-type: none"> ・学生自主活動支援(フォーミュラ・レスキューロボ) ・メールアドレス登録の促進 各クラス会の開催促進と代表を通じてアドレスの更新 2015年12月1594名(26%)⇒2023年3月33%以上を目標 ・各クラス同窓会開催支援: <ol style="list-style-type: none"> ①連絡先の情報提供 ②テレ会議システム活用 ③同窓会の開催報告のホームページへの掲載 ・テレ会議システム(Zoom)の活用(会議、クラス会ほか) ・工学部100周年記念行事への参画 具体的な行事内容により、参画方法を決定する ・機械クラブとKTCの関係を説明し年会費への理解と協力をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生自主活動支援(フォーミュラ・レスキューロボ)に支援金贈与 ・メールアドレス登録の促進 各クラス会の開催支援 <ol style="list-style-type: none"> ① 連絡先の情報提供 ② テレ会議システムの活用促進 ③ 同窓会の開催報告のホームページへの掲載、 ④ 同期会の思い出、教官の思い出のホームページへの掲載 ・工学部100周年記念行事への参画 ・機械クラブとKTCの入会勧誘への説明会の開催 												
財務	<ul style="list-style-type: none"> ・春と秋の機械クラブだよりにあわせて年会費納入者名簿を作成する。 ◇春(21号)は2021年の年会費納入者 機械クラブだより21号の別冊では前号でも案内した、ゆうちょ銀行が「加算料金」を新設し、徴取が始まったその内容の説明を1ページ目に記した。 ◇秋(22号)は2022年の年会費納入者の中間報告 ・コロナがおさまり、親睦会、見学会等が行える世の中になり、年会費の納入が低調な場合は年会費のお願いメールの発信を考える。 	<p>2022年5月23日現在の収入</p> <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>年会費納入者</td> <td>複数年既納者</td> <td>304名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今年の納入者</td> <td>67名</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">で年会費収入 742,000円 (予算1,008,000円)</td> </tr> <tr> <td>寄付を頂いた方</td> <td>8名</td> <td>合計67,000円</td> </tr> </table> <p>KTCからの交付金は135,000円との連絡があった。</p> <p>年会費を納入して頂いた方の傾向として三井住友銀行へ振込振込して頂いた方が12名と増加した。また、ゆうちょダイレクトを利用して頂いた方も増加した。いずれも、振込手数料が発生せず良い傾向です。</p> <p>支出の母校支援分は予算通り執行した。他で予算変更は現状ない。</p>	年会費納入者	複数年既納者	304名		今年の納入者	67名	で年会費収入 742,000円 (予算1,008,000円)			寄付を頂いた方	8名	合計67,000円
年会費納入者	複数年既納者	304名												
	今年の納入者	67名												
で年会費収入 742,000円 (予算1,008,000円)														
寄付を頂いた方	8名	合計67,000円												
機関誌	<ul style="list-style-type: none"> 下記原稿の編集 ・機関誌95号(2022年9月) ・「機械クラブだより」第22号(2022年9月) ・機関誌96号(2023年3月) ・「機械クラブだより」第23号(2023年3月) 課題:部会員人数増と「機械クラブだより」の編集企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・機関誌95号(2022年9月)の編集 「わが社の技術」には、島津製作所(95号)、川崎重工業(96号)に依頼予定 工学部100周年記念事業は、96号に掲載 ・「機械クラブだより」第22号(2022年9月)の編集 谷口英二氏(M21)に編集をサポート頂く予定 												
講演会	<ul style="list-style-type: none"> 先輩は語る」4月27日 or 5月11日(水)8:50～ 講師:佐藤 有香理氏(キャタピラ)(予定) 同時開催:学生の国際活動報告 ・「機械工学先進研究」10月29日(土) 講師:菅野 公二 教授 同時開催:学生フォーミュラ、レスキューロボ活動報告 ・「若手研究者は今」12月3日 or 10日(土)11:30～ 講師:石田 駿一 助教(予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「先輩は語る」5月11日(水)8:50～ 講師:佐藤 有香理氏(キャタピラ) 題目:新入生に伝えたい3つのこと 同時開催:学生の国際活動報告 												

部 会	・2022 年度活動計画	2022 年度活動実績
見学会	ワクチン接種2回目迄は進展したが、コロナ感染終息目処たらず、2022 年度も開催見送りの予定。	2022 年度開催見送りの為、活動無し。
会員親睦	第182回:04/08 東条・宇城コース 第183回:07/08 東条・大蔵コース 第184回:10/14 東条・東条コース 目標:参加者数 15。 ・若手OBへの部会参加声掛け ・HC見直し年度で、後期高齢者の奮起に期待	第 182 回(04/08)東条・宇城コースは、17 名の参加で行われました。New face が 3 人(M ^㉑ 、 ^㉒ 、 ^㉓)と若返りの兆しが見えます。
座談会	・2021 年度中止になった両座談会を 2022 年度にスライドした計画とする。 ・第 8 回基幹座談会「学生時代と社会人生活を語る座談会」を 2022 年 5 月中旬、コロナ禍が収束する前提で、工学部で開催予定。(Web 方式も検討) 当該回生出席予定者: 10 数名 ・第 6 回「機械技術者生活を語る座談会」を 2022 年 10 月にコロナ禍が収束する前提で、工学部で開催予定。(Web 方式も検討) 話題提供者:2~3 名: 学生出席予定者:26 名程度の予定。	・5月中旬に開催予定していた「第8回基幹座談会」は、座談会部会の幹事会を Zoom 会議で2回(2/20, 3/20)開催し、5月開催はコロナの状況で困難と判断し延期とした。一方8月以降開催に向けて、5/29 に幹事会を開催し、工学部で、何とか対面式での開催を実施すべく継続して検討中。 ・第6回「機械技術者生活を語る座談会」は、2022年度は開催を見送る予定。
クラブ精密	クラブ精密は、コロナのため本年度例会は延期の予定。	コロナ精密は、コロナのため会合未定。
東京支部	・コロナの状況にもよるが、幹事会はなるべく対面での実施を追求していく。対面での実施が難しい場合は、21年度と同様にメールを活用した方式で行う。 ・東京支部総会についても、可能であれば例年通りに7月に実施を計画するが、コロナの状況を注視しながら状況に応じて対応する。 ・東京支部見学会もコロナの状況次第であるが、オンライン(ZOOM活用)での講演会も検討していく。 ・新年会も可能であれば実施したい。	・第一回幹事会を 2022 年 5 月 24 日に対面で実施した。今年度の東京支部幹事体制は昨年までの人員で継続することを確認した(役割分担は一部変更)。東京支部総会は、準備期間を考慮し、本年9月頃にZOOM併用で実施することとし、今後、会場の確保、神戸との調整、講演者の確定等を進めていく。 ・東京支部見学会は11月頃に実施する方向で、検討を進めていく。
理・代会	第 1 回理事・代表会 6 月 4 日(土)予定 第 2 回理事・代表会 12 月 3 日(土)予定	第 1 回理事・代表会 6 月 4 日(土)実施予定 第 2 回理事・代表会 12 月 3 日(土)の予定
総会	2023 年 3 月 24 日(金)予定	2023 年 3 月 24 日(金)予定。会場未設定

その他

卒業生 8350 名 現存会員数 6520 名 物故者 1830 名
メールアドレス登録者数 2114 名(32.4%)